

模擬原爆で7人が犠牲に

大阪市・慈光寺 戦時下の地域、子ら学ぶ

地元の戦争の惨禍を ていた龍野繁子さん
知り平和について考え (90、同寺門徒)が体験
ようと大阪市東住吉区 を語り、大人と一緒に
の慈光寺 (高田慶慈住 参加した子どもたちは
職)は8月6日、平和 真剣なまなざしで聞き
学習会を開いた。 入っていた。

昭和20年7月26日、 龍野さんは「金属類
同寺から700kg程の 回収令によって、生活
田辺小学校付近に1発 用品の中で鉄が使われ
の大型爆弾が投下さ ているものはすべて取
れ、7人が犠牲となり り上げられた」「小学
多くの人が負傷した。 校の講堂には、空襲で
当時は「1トン爆弾が 亡くなった多くの遺体
落とされた」などと 言 が積み上げられてい
われていたが、広島、 た」など戦時下の様子
長崎に投下された原子 を語るとともに、「あ
爆弾を模した「模擬原 の爆弾が広島、長崎の
爆」であったことが平 訓練だったと知り、強
成3年にわかった。 い憤りを感じた。子ど

学習会では、当時国 もたちに戦争の悲惨さ
民学校教員として爆心 を包み隠さず伝えた
地近くの工場へ学徒動 い」と強い思いを語っ
員として生徒を引率し た。